

大切な自分を守るために ～CAPプログラム体験～

子どもを取り巻く環境がますます厳しくなっている状況のなかで、子どもたちが自分に自信を持ち、自由な意思を持って人生を生き抜いていくための方法を、グループワークやロールプレイを通して考える、実践的で具体的なプログラムを体験します。



もしも、友達からいじめられたら？

知らない人って、どんな人？

もしも、知らない人に連れて
行かれそうになったら？

その時、何ができますか？

大切な自分を守るために

子ども対象

日時：2009年11月27日(土)

10:00～11:30(9:45受付)

場所：仙台市福祉プラザ

第3研修室

参加対象：小学低学年

参加費：500円

定員：15名(先着順)

大切な自分を守るために

大人対象

日時：2010年11月8日(月)

10:00～12:00(9:45受付)

場所：仙台市福祉プラザ

第4研修室

参加費：500円

- * 関心のある方はどなたでも参加できます
- * 子ども対象の講座に参加希望の児童の保護者は必ず参加してください。

〈おとな対象には・・・〉

どんなに子どもが心配でも、四六時中子どもについていることはできません。子どもが自分自身で、自分を守るように、何をどんな風に教えたら良いか子どもを犯罪の被害者にも加害者にもさせないために大人が出来ることや、支援の方法や情報などをお話します。



この企画は、1年に1度しかありません。ぜひ、この機会をお見逃しなく、ぜひご参加ください。

CAPみやぎ=1999年3月から活動。

子どもがいじめや虐待、誘拐などあらゆる暴力から、自分で自分を守っていくCAPプログラム(Child Assault Preventionの略)を提供している非営利の市民団体です。子どもへのあらゆる暴力を許さない安全な社会を目指し、子どもの人権が尊重される社会の形成に寄与することを目的にしています。

申し込み・問合せ

みやぎCAPみやぎ事務局

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2

みやぎいのちと人権リソースセンター内

PHS 070-5017-4389

E-Mail capmiyagi@yahoo.co.jp

スター・ペアレンティング講座

～叩かず、甘やかさず子育てする方法～

子育て 楽しんでますか？

子どもに手をあげず、かといって甘やかもしない子育ての方法があるとしたら・・・？

親も子もストレスを感じないで、落ち着いて子育てができるとしたら・・・？

親も子もがまんしない。

笑顔になれる子育ての方法を体験してみませんか

『ペアレンティング』とは、親の在り方や役割を意味する言葉で、子どもの自立する力を引き出すために親のあり方を親自らが学習する「親教育」を言います。

子どもを持ったら、すぐに何でもできる親になるわけではありません。親としてのスキル(技術)を学び、トレーニング(練習)することが必要なのです。

もし、今、子育てがうまくいっていないのなら、それは、親のせいでも子どものせいでもありません。そのやり方が子どもに合っていないということなのです。その子に一番良い方法を見つけていきましょう。



CAPみやぎ

1999年設立。子どもの人権が守られ、子どもへの暴力をなくすため『CAPプログラム』の活動に取り組んでいます。

子どもへの虐待をなくすには、まず子育てを変えることから～と考え、子育ての技術を高める『スター・ペアレンティング講座』開催にも取り組んでいる。

CAPみやぎの連絡先は裏面

分科会 ⑮

日時：2010年11月14日(日)
13:00～15:00
(受付開始 12:45)

会場：仙台市青年文化センター

参加費：無料 ※参加費は無料ですが、フォーラムへの協力金をお願いしています

定員：大人40名

講師：佐々禮子

スター・ペアレンティングファシリテーター

*託児が必要な方は必ず事前にフォーラム事務局までご連絡ください。(対象年齢生後6ヶ月～)

*会場アクセス

地下鉄旭ヶ丘駅下車、東1番出口より徒歩3分

主催：子どもの権利条約フォーラム inみやぎ 実行委員会

〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5-102 TEL/FAX 022-279-7239 (電話受付時間平日15時～19時)

Eメール kodomo.kf@mist.ocn.ne.jp

「子どもの権利条約フォーラム2010 inみやぎ」

「子どもの権利条約」とは、1989年、国連総会において、採択された条約です。日本は1994年に批准しましたが、日本の現状は、毎日1.7人の子どもが自殺し(警察庁統計資料2009年)3日に1人の子どもが虐待死(厚生労働省調査2006年)しており、子どもの権利を守ることができているとは言い難い現状です。

このような状況を何とかしようと、子どもに関わる活動をしている人たちが集まって企画しました。